

田尻だより

平成 19 年

1 月 号

Vol. 45

次回の田尻便りは
2月発行予定!

新年おめでとうござ
います。良いお正月を

過ぎされたことと存じ
ます。

平成一五年に始まり

ました田尻便りも、ま

た新たな年を迎えるこ

とができます。本当

にありがたいことです。

本年もよろしくお付

き合いますよう、

お願い申し上げます。

12月24日の夜、
クリスマスのお祝い
している。



外からジングルベルの音が。

「共存、そして共生」

人と自然との関係と

いうのは難しいもので

す。環境問題や野生生

物の絶滅などを考える

とき、いつそ人間なん

ていないほうがいいの

では、などと考えるこ

ともあります。

けれど、田んぼの生

き物調査をしていると、

いかに野生生物が人間

に依存しているかを痛

感します。落ち穂をつ

いばむ雁や白鳥、田ん

ぼの虫を食べるツバメ

やトンボ、カエルやド
ジョウたち。もし、日
本の農業が全滅し、田
んぼが荒廃してしまっ
たら、彼らは一体どこ
へ行くのでしょうか。

田んぼは日本に棲む

生き物たちの巨大なゆ

りかごのようです。そ

の中では人も生き物も、

互いに支えあつて人と

いう字を作っています。

私達が求めてやまない

のは、そんな共存共生

の歴史をつづつてきた、

人間の生き方なのです。

やって来たのは、なんと
サンタさん!! 実はこの
サンタさん、農協の青年部
のお兄さん。(おじさん?)



サンタさんとプレゼントに、
大喜びのさくらでした。

未 暦 ~こめごよみ~

(農閑期のため、お休みです。)



例年であればワラ上げなどを行っていましたが、
今年の12月は雨や霧が多くワラが乾きま
せんでした。ワラ上げは春に持ち越しです。

絵と文 / 小野寺ひかる

嫁日記

もういくつ寝るとお正月…
なんて言っている間にやっ
て来たお正月。仕事はあ
れほど待ち遠しかったお正
月なのに、いざそうすると、
もう来なくていいお正月。

ああ悲しいかな本家の嫁。
しかも今年は元旦にお義母
さんがいなかったの、何

でこーなるの!?!のお正月。
普段からお付き合いのある
親しい親戚の人たちなのに、
改まって一家そろっていら
っしゃると、何から何まで
気疲れしてしまい…。

私が何とかしなくちゃ!と
頑張ってしまうのが、本家
の嫁の性(さが)なのか…。
もうお正月はこりこりだと
ひとりごちる私なのでした。